

あいあい傘

今年も一人暮らし高齢者に“新米”

喜々津地区社協は今年度も昨年11月6日、71歳以上の一人暮らし高齢者187人に地元産の新米各2キロを贈りました。「お米の値段が高くなっており、とても助かります」などと大変喜ばれました。

新米プレゼントは令和2年度から毎年実施。今年度で6回目を迎えます。民生委員の皆さんが担当する高齢者の家を訪問。食生活改善推進協議会の皆さんが考案した簡単な料理レシピ、健康的な食生活についてのアドバイスをつづったお便

市布地区の小川智美さん(80)は「初めピもおいしそう。早速作ってみます」と笑さんは「安否確認も兼ねており、話も弾み

187人に地元産2キロプレゼント



りなどを添えて高齢者に手渡しました。

ていただきました。とってもうれしい。レシピ顔で話していました。民生委員の大杉真智子です。今後も続けていきたいですね」と話し

サロン活動にフロアカーリングを 評議員・福祉協力員研修会

「フロアカーリングを通しての住民のつながり」をテーマに昨年10月22日、サロン協力者、関係者22人が参加し、「評議員・福祉協力員研修会」が開かれました。

地域の交流を深めるために、「生き生き元釜サロン(元釜地区)」で取り組まれているフロアカーリングについて、発案者の江崎勝義さんの講演後、カーリングを体験しました。

初心者も経験者も、スティックの持ち方やフォームなどについて、手取り足取り説明を受けたあと、3人一組となって、一緒に競技を開始しました。スティックで打った後のストーンの行方に、笑いあり悔しさありの楽しく勉強になる研修会でした。今後はこの研修会を参考に、フロアカーリングを地域のサロン活動に活かし、住民同士が繋がっていくことを期待し、終了しました。



お年寄りの皆さん いつまでもお元気で

喜々津小児童 今年もお年寄りにふれあい年賀状



「いつまでもお元気で」。今年も喜々津小学校 4年生の児童たちが、71歳以上の一人暮らしの高齢者の皆さん187人にふれあい年賀状を書いてくれました。

昨年11月14日に喜々津小学校へ高齢者の名簿と年賀はがきを持参。児童たちは早速、小学生らしい目標やかわいい絵、励ましの言葉などを、心を込めて書いてくれました。お正月に届いた年賀状を見た高齢者の皆さんは「お正月早々ほっこりしました」ととても喜んでいました。

ふれあい年賀状のお礼として、いきいきサロンを利用しているメンバーや有志の高齢者の皆さんに雑巾250枚を縫ってもらい、メンバーの代表が2月18日、喜々津小学校へ届けました。本田善志郎会長は「今後もこの取り組みを続けていきたい」と話していました。

サロンメンバー
お礼に雑巾を
250枚贈る



レクリエーションのコツ 実践交え学ぶ

ふれあいいきいきサロン実践者研修会が1月27日、たらみ会館であり、喜々津社協からサロン実践者約60人が参加しました。レクリエーションをするときのちょっとしたコツなど実践を交えて楽しく学びました。

県レクリエーション協会の方がレクリエーション活動の始め方や新聞紙など身近な材料を使って楽しむ方法、同協会にある用具を使った新しいスポーツさんは新聞紙でリングを作って輪投げやラダーゲームなどを体験しました。

ふれあいいきいきサロン実践者研修会



の楽しみ方などを紹介。説明の後、参加者の皆をしたり、ペタンクをアレンジした室内ペタンク

同協会は「レクリエーション用具などを無料で貸し出している」と話しており、私たちサロン実践者としては「大いに利用してサロンを盛り上げたい」と思いました。

活動を充実し、参加者をもっと増やしたい



喜々津団地いきいきサロン

喜々津団地は現在415戸の世帯数で45年以上が経過し、建て替えも少しずつ進んで若い住民の方もおられますが、高齢化が進み徐々に一人暮らしの方も増えてきている現状です。

そのような中で、「いきいきサロン」は団地内の見守り活動として重要になってきていると

感じています。活動としては、「おやじコーラス」「桜のお花見会」「レクリエーション」「食事のワンポイントアドバイス」など有志の皆さんや団体のご協力を得て開催しています。また、参加者によるチーム対抗のポッチャなどのゲームでは、熱い戦いで盛り上がっています。参加者は常時15人以上の方がおられますが、固定化されている感もありもっと参加人数が増えるように、お誘いに力を入れていきたいと考えています。

おいでよ、いきいきサロン

地域のホットな活動を紹介

世界にたった一つの「めで鯛」色紙できました



中里いきいきサロン

毎年12月の例会では、新しい年がよい年になりますように、と願いを込めて色紙のお正月飾りを作ります。

今年は縁起がいいと言われる「めで鯛」が向き合って跳ねている図案でした。参加された皆さんは思い思いに工夫をしながら楽しく挑戦。同じ図案でもそれぞれのセンスで全く違ったウロコの大きさ、色彩の「めで鯛」が出来

上がりました。世界にたった一つの名品に参加者もお互いに自慢しながら満足の様子。早速一年間、家の中の目立つところに飾っています。

皆さんが今年も元気に楽しく、笑顔で過ごされることをボランティア一同祈念しています。これからも地域の皆さんが少しでも健康で楽しく過ごしていただけるよう季節感のあるものなどを工夫し笑顔あふれるサロンにしていきたいと思っています。

各地域で広がる世代間交流の輪

今年も各地域で、子供からお年寄りまでが参加してクリスマス会やしめ縄づくり、鬼火など多彩な交流行事が行われました。笑顔があふれ、世代を超えた親睦を深めていました。



喜々津団地・七夕飾り

子供たち、保護者、高齢者が一緒になって笹に願い事を書いた短冊を飾り付けました。スイカ送りゲームやスイカ割りでは笑顔がはじけました。



市布・レクリエーション大会

子供からお年寄りまで参加して、グラウンドゴルフなど4つの種目をグループに分かれて順番に楽しみました。最後はビンゴゲームでにぎやかに締めました。



喜々津船津・しめ縄づくり

今年も船津の守り神である鹿神社に飾り付けるしめ縄を子供たち、保護者、お年寄りがパーロン資料館に集まり、みんなで和気あいあいと楽しく作りました。



中里・鬼火焚き

地域の皆さんが協力して会場設営や炊き出しを行い、午年生まれの児童が火入れをして開会。全員で鶏肉団子汁や焼き芋、もちなどを食べながら交流しました。

子供たちは高齢者の皆さんから折り紙の折り方を習った後、思い思いの願い事を短冊に書き、全員で笹に飾り付けました。ミニ縁日も大いに盛り上がりました。

木床1区 七夕集会



西川内・鬼火焚き

田んぼに高さ8mの竹のやぐらを組み、地域の人たちが持ち寄った正月飾りを燃やしました。約100人の住民が集まり、改めて地域のつながりを感じました。

編集委員

石丸俊也 黒木文子 小松好子 松尾博一